

2011年5月9日

第43回国際化学オリンピック トルコ大会 日本代表が決定！

「夢・化学-21」委員会
公益社団法人 日本化学会

世界中から選ばれた高校生が集まって化学の実力を競い合う「国際化学オリンピック」。このほど、今年の7月9日～18日にトルコのアンカラで開催される『第43回国際化学オリンピック トルコ大会』に出場する日本代表生徒4名が決定しました。代表に選ばれたのは以下の4名です。

浦谷 浩輝(うらたに ひろき)	滋賀県立膳所高等学校 3年(17歳)
栗原 沙織(くりはら さおり)	北海道札幌西高等学校 3年(17歳)
齊藤 颯(さいとう はやて)	灘高等学校 3年(18歳)
副島 智大(そえじま ともひろ)	立教池袋高等学校 2年(16歳)

※50音順。学年、年齢は2011年5月9日現在

※4名のほかに次席として以下の2名を選出

山本 英明(やまもと ひであき)	片山学園高等学校3年(17歳)
山角 拓也(やまかど たくや)	灘高等学校 2年(16歳)

「国際化学オリンピック」の日本代表生徒の選出は、日本化学会の化学グランプリ・オリンピック委員会オリンピック小委員会(委員長: 米澤宣行東京農工大学教授)が行っています。オリンピック小委員会は昨秋“日本代表候補生徒”として、「全国高校化学グランプリ2010」の成績優秀者18名、及び日本化学会支部から推薦を受けた1名の計19名の高校2年生、1年生を認定しました。続いて本年1月6日の第1回選抜試験(筆記)を受験した19名の中から成績上位者9名を“日本代表最終候補生徒”として選出し、さらに4月29日～5月1日に徳島大学で、実際のオリンピックを想定した筆記試験と実験試験による最終選抜を実施、日本代表生徒4名を決定しました。またオリンピック小委員会は、今年度より新たに次席生徒2名を選出しました。次席生徒2名は本人の希望により代表生徒4名と一緒に強化訓練を受けることができます。

「国際化学オリンピック」は、毎年7月の10日間、世界約70の国と地域から280名近くの優秀な高校生が一堂に会し、筆記試験と実験試験で実力を競い合うと同時に交流を深めることを目的として開催されています。昨年2010年には、日本で初めて「国際化学オリンピック」が開催され、日本代表生徒は歴代最高の成績(金メダル2名、銀メダル2名)を収めました。日本代表に選ばれた生徒たちは、大会までの期間オリンピック小委員会の関係者らによる特別指導を受け、さらに研鑽を積んでいきます。

◆『第43回国際化学オリンピック トルコ大会』日本代表 今後のスケジュール◆

5月21日(土)～5月22日(日)	鳥取合宿(鳥取大学 鳥取キャンパス)
6月18日(土)～6月19日(日)	福岡合宿(九州大学 箱崎キャンパス)
7月7日(木)	代表壮行会
7月7日(木)～7月8日(金)	直前合宿
7月9日(土)～7月18日(月)	『第43回国際化学オリンピック トルコ大会』
7月10日(日)	開会式(予定)
7月12日(火)	実験試験(予定)
7月14日(木)	筆記試験(予定)
7月17日(日)	閉会式(予定)

本件のお問い合わせ先

日本化学会／大倉、遠藤 TEL: 03-3292-6164／FAX: 03-3292-6318
「夢・化学-21」委員会事務局(日本化学工業協会内)／井上 TEL: 03-3297-2555／FAX: 03-3297-2615
ホームページ: 国際化学オリンピック HP(<http://icho.csj.jp/>) / 夢・化学-21(<http://kagaku21.net/>)

<参考資料>

◆国際化学オリンピック(IChO=International Chemistry Olympiad)とは?◆

1968年に東欧3カ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の化学の学力試験から発展した、1年に1度開催される「化学」の国際大会です。代表は1カ国最大4名まで出場でき、近年では約70の国と地域が参加する一大国際大会となっています。大会は、毎年7月に10日間開かれ、個人単位でそれぞれ5時間に及ぶ実験問題(Experimental Examination)と筆記問題(Theoretical Examination)に挑戦します。成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)がそれぞれ贈られます。日本は2003年のアテネ大会より参加しています。

◆日本代表生徒のこれまでの成績◆

		金	銀	銅
2003年	ギリシャ・アテネ大会	-	-	2
2004年	ドイツ・キール大会	1	-	3
2005年	台湾・台北大会	-	1	3
2006年	韓国・慶山大会	1	3	-
2007年	ロシア・モスクワ大会	-	-	4
2008年	ハンガリー・ブダペスト大会	-	-	4
2009年	イギリス・ケンブリッジ大会	2	1	1
2010年	日本・東京大会	2	2	-

◆2011年は『世界化学年』◆

2011年は、国連で定められた『世界化学年』にあたります。“Chemistry-our life, our future”をテーマに、各国・地域で世界化学年を記念した多様なイベントが開催される予定です。日本でも、“化学”という私たちの生活に密着した分野の驚きや魅力を知ってもらうことを目的にした様々な企画が予定されています。



International Year of
CHEMISTRY
2011